

# Accuphase C-7

MCカートリッジ・ステレオ・ヘッド・アンプリファイヤー

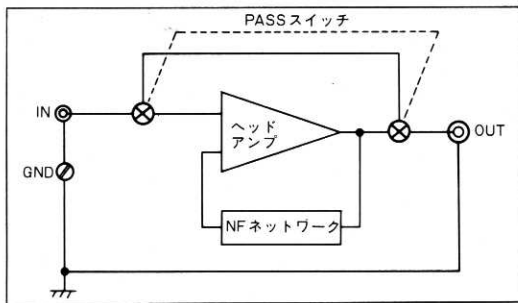
## 取扱説明書



### ●C-7 保証特性

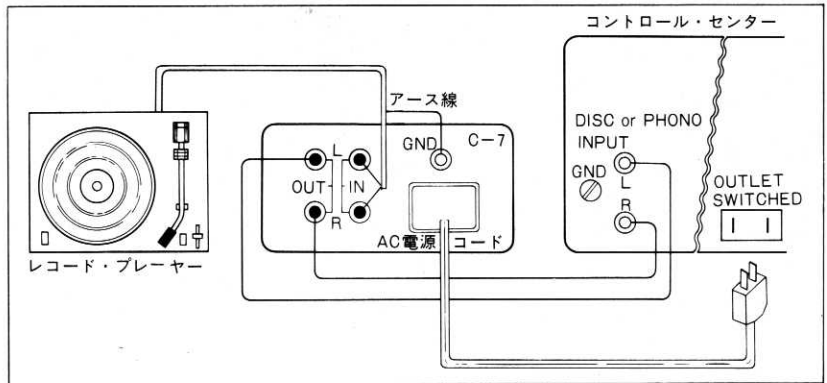
- |                             |                                     |  |
|-----------------------------|-------------------------------------|--|
| ●ゲイン                        | 26dB                                | 入力換算：-152dBV                                   |
| ●周波数特性                      | 5~100kHz +0 -0.2dB                  | ●入力インピーダンス 100Ω                                |
| ●最大入力                       | 35mVrms<br>(20-20,000Hz, ひずみ0.002%) | ●出力インピーダンス 100Ω                                |
| ●高調波ひずみ率                    | 0.002% 20-20,000Hz<br>(最大入力にて)      | ●使用半導体 26Tr, 9FET, 2IC, 8Di                    |
| ●S/N・入力換算雑音 (IHF-A, RIAA適用) | S/N: 72dB (0.1mV入力)                 | ●電源及び消費電力<br>100V, 117V, 220V, 240V 50/60Hz 5W |
|                             |                                     | ●寸法・重量 幅102mm×高さ61mm×奥行350mm<br>2.5kg          |

お客様カードを付属していますから、これに必要事項をご記入の上、ご返送ください。品質保証書をお届け申し上げます  
製品に異常が認められるときは、弊社、品質保証課または、お求めの専門店へ直ちにご連絡くださいますようお願い申し上げます



〔第1図〕C-7のブロック・ダイアグラム↑

〔第2図〕C-7の接続図→



## 接続方法

本機の内部結線を第1図に示します。プレーヤー→C-7→コントロール・センターの接続は第2図の通りとなります。プレーヤーからのアース・ラインはコントロール・センターから外し、本機のGND(グラウンド端子)に接続して下さい。コントロール・センターのGND端子には何も接続する必要はありません。

## 電源のとりかた

本機の電源はコントロール・センターのスイッチと連動するSWITCHED OUTLET(コントロール・センターの取出し口)に接続し、ON-OFFはコントロール・センターのスイッチで行なうようにします。このようなことから、本機には電源スイッチが付いていません。本機を使用しない場合でも通電されることとなりますが、消費電力は5Wと小さく発熱も少ないので長時間にわたって通電しても安全でまったく差し支えありません。

なお、MCカートリッジの再生状態で、本機の電源プラグを抜き差ししますとショック・ノイズを発生しますので、そのような場合は必ずコントロール・センターのVOLUMEをしばってから行なってください。

## PASSスイッチの切替ノイズについて

ヘッド・アンプの入力からパワー・アンプの出力までの総合利得は100dB(100,000倍)前後というものすごいゲインです。このためヘッド・アンプで発生する微少なノイズでもスピーカーから出て来てしまいます。特にスイッチを切り替えるときのショック・ノイズは刺激的で気になるものです。このため本機にはミュート回路により、切り替え時のショック・ノイズを大幅に低減するようにしています。しかし、PASSスイッチを切り替える時にわずかに発生することがありますが、安全性の点では全く問題ありません。

## カートリッジの取り替えについて

アームからカートリッジ・シェルを取り外したり、取り

替えるときは、ヘッド・アンプの入力にショック・ノイズが発生します。必ずコントロール・センターのVOLUMEを最少にしてから行なってください。

## カートリッジの出力インピーダンスとヘッド・アンプの入力インピーダンス

ヘッド・アンプの入力インピーダンスはカートリッジの負荷インピーダンスになるものです。つまりカートリッジを発電体と見做した場合、その負荷インピーダンスは発電体の動作をさまたげるようなことがあってはなりません。このことはアンプの出力インピーダンスとスピーカーのインピーダンスの関係に似ています。このために一般に負荷インピーダンスは、カートリッジの出力インピーダンスの数倍以上の値で受けることが原則となります。本機ではあらゆるMCカートリッジを実際に試聴して100Ωに決定し、固定入力インピーダンスにしてありますが、オルトフォンタイプの2~3ΩのものからEMTのような40Ωのカートリッジまですべてに適合します。

負荷インピーダンスが低くなるとカートリッジの振動子の動作が過制動になり、低域の量感が無くなり圧迫感のある音質になります。

## 電源電圧の切り替えについて

本機の電源電圧は国内でお求めのときは、100Vにセットされております。使用することのできる電源電圧は100V、117V、220V、240Vの4段階に切り替えることが可能です。もし他の電圧を希望されるとき、または国外でご使用のときには、本機をお求めの専門店または、弊社、品質保証課までご連絡くださいますようお願いいたします。

**Accuphase**

ACCUPHASE LABORATORY INC.

**アキュフェーズ株式会社**  
 横浜市緑区新石川2-14-10 〒227  
 TEL (045) 901-2771 (代表)